

はばたき

平成28年

3月31日

第90号

発行者 社会福祉法人 新生会 障害者支援施設 第二新生園 鈴木 長 幸
岩手県紫波郡矢巾町大字太田 17-54 TEL(019) 697-8011 FAX(019) 697-8013



主な内容

- ◎ 施設長あいさつ
- ◎ 医務室・給食室
- ◎ 各課から
- ◎ 行事写真・利用者さんにインタビュー
- ◎ 離任式・お知らせ

2月、太田自治会の厄払い歳祝い会へ出席した時の一枚です。
メイクやおしゃれをした利用者さんの凛凛しい姿が印象的でした。

最近の話題にふれて

施設長 鈴木長幸

3・11東日本大震災・津波の日から5年が経ちました。田野畑村にあるNPO法人ハックの家の竹下理事長さんが近況を綴っておられました(「働く広場」2016/2 No.461 高齢・障害・求職者雇用支援機構)。「被災、多くの方々からの支援、そして現在まで、この5年間、自分自身そして法人のさまざまなことなど、整理しきれないことだらけの毎日を送っています」と。文末では「これらが整理できなければ復興したとは言えません」と書いておられました。気の利いた言葉や支援は持ち合わせてはいませんが、被災地の方々の気持ちの整理にはさらに長い年月を要するというのを改めて感じました。

年明け1/16放送のNHK Eテレ「戦後史証言プロジェクト」日本人は何を目指してきたのか 未来への選択(6) 障害者福祉と共に暮らせる社会を求めて」では戦後70年間の福祉施策の変遷が取り上げられていました。障害のある方について、社会の役に立たないという考え方で福祉から置き去りにされていた時代、悲願が通じて福祉の手がさしのべられるようになった時代、健常者と弱者という立場で施策が進められた時代、そして障害があっても一人の人間として尊重されるようになってきている現在、その時々福祉施策には私たち国民の意識が大きく関わってきていることを良く理解することができる番組でした。誰もが分け隔てなく、互いを尊重しながら共生していく社会、いわゆる「インクルーシブな社会」の実現が叫ばれる昨今、福祉施設に関わる私たちの意識も一層問われているように思われました。

折しも、4月1日からは「障害を理由とする差別的解消の推進に関する法律」(いわゆる「障害者差別解消法」平成25年6月25日公布)が施行されました。これは、すでに障害者差別禁止を明文化している障害者基本法を実効性のあるものにするために制定された法律で、「不当な差別的取扱い」と「合理的配慮をしないこと」を禁止することが要点です。その詳しい内容については、他にわかりやすいものがたくさん紹介されていますので、そちらに委ねさせていただきます。

さて、話題を当園に移します。師走20日(日)に恒例の「すてきなパーティー2015」があったかいんだから」を盛岡グランドホテルを会場に開催しました。これは、隔年ではありますが、クリスマス前の時期に保護者会と園とが共催で実施してきている大切な行事です。今回は利用者さん、ご家族、来賓、職員総勢182名が参加し、楽しいひとときを過ごしました。フィナーレではテーブルごとに紙ヒコキを折り、AKB48の歌が流れる中、新しい年への希望を込めて一斉に飛ばしました。入所、通所それぞれで忘年会を行って旧年を締めくくりましたが、お陰様で利用者さん、職員は元気に申年を迎えることができました。ただ、年末年始に帰省(外泊)することができた入所利用者さんは残念ながら半数を切り、年齢を重ねることの意味を否が応でも考えさせられます。

立春の声を聴いて間もない2月6日、ご案内をいただいていた地元太田地区の厄払い・歳祝いの会に62歳の厄年を迎えられた女性利用者さん、付き添いの職員と一緒に参加させていただきました。各年代の厄払いを地域の方々が集まって行うという機会が継続されていることはとても貴重なことだと感じました。新生会として第二新生園がこれまで育んできた地域とのつながりを大切に、開かれた施設貢献できる施設をめざすべく、決意を新たにした次第です。

いつもと違う冬と囁かれながらも、春は確実にやってきました。手に余るような降雪、思いもよらないような豪雨、そして身体に堪えるような猛暑など、度を越すような天候にはならないよう祈りたいものです。

新年度も第二新生園へのご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。



医務室より

健康を保ち病気の予防を目指す

看護師 大澤 梅子

本年度も利用者さんの健康維持に努め、健康診断及び歯科検診、そして予防接種を実施しました。感染症に対しては、県の情報、利用者さんの罹患状態に応じて感染対策委員会を随時開催、園として統一した予防策を

決め、速やかに実施するようにしています。今年の流行期は、インフルエンザの罹患、ノロウイルスの疑いが数名の利用者さんに見られましたが、幸いにも拡大は防ぐことができています。

普段利用者さんは天候の良い日は散歩に出掛け、元気に過ごしています。突発的な怪我や発作、体調不良もあります。自身で痛みや具合が悪い事を訴えるのが難しい利用者さんが殆どです。日常での変化をきちんと捉え早期対応を心掛けています。そのために職員間での情報共有を大切にしています。

利用者さんが楽しく、美味しく

風邪の症状がみられた利用者数（延人数）

月	入所	通所	計
27年10月	7	2	9
11月	7	1	8
12月		2	2
28年1月	1		1
2月	2	4	6
3月	2		2
計	19	9	28

【備考】インフルエンザの診断（疑いを含む）を受けた利用者＝通所4名

いご飯を食べられる事、そのためには健康な体でいられる事が基本です。これからも利用者さんとのコミュニケーションを図りながら、体調管理の支援に努めていきたいと思っています。

給食室より

第二新生園の給食提供

栄養士 木村 敦子

今年度は厚生労働省の『日本人の食事摂取基準』が改訂となり、塩分摂取目標量が男性8g/日未満・女性7g/日未満と低基準に大幅変更となりました。特に、岩手県は男女ともに脳卒中での死亡率が全国ワースト1であり、原因として食塩摂取量の多さが指摘されています。県を挙げての減塩の取り組みとして7月から毎月28日を『いわて減塩・適塩の日』と定め、スーパーなどで減塩メニューの紹介などしているのを見かけます。第二新生園での減塩の取組みとしては酸味や香辛料を使用しての減塩、また、だしに昆布だしをさらに追加する、牛乳を少量使用するなどにより旨み効果を上げ調味料全体を減量することによる減塩を試みているところです。ひと手間はかかりますが、調理員さん方と共通理解を図り、減塩なおかつ美味しいといわれる給食提供を目指しています。

また今年度は、当園給食における地産地消活動内容を農林水産省主催『地産・地消メニューコンテスト』に応募し東北農政局長賞を頂戴しました。当園の就労継続支援B型の利用者の皆さんが栽培・収穫した農作物（じゃがいも、枝豆、ピーマン等）を給食提供している事、地元食材使用を評価されている事と思えます。この受賞が、今後の利用者皆さまの活動の励みにも繋がることと嬉しく思います。

給食は、利用者さんの生活の糧となり、健康寿命の延伸の鍵ともなると考えています。今後とも可能なかぎり地元食材を使用し、安心・安全で健康に留意した給食提供を心掛けていきたいと思います。



「課活動から」

『ハロウィンパーティー編』

生活支援員 播摩 光一



支援一課では、利用者さんの笑顔をいかに引き出すかを職員ひとりひとりが考え支援しています。中でも多くの笑顔が見られる行事として近年、第二生園秋の風物詩として定着した「ハロウィンパーティー」があります。会場となる食堂はパーティー会場へと変わり、利用者さん、職員が仮装し、ファッションショーが始まります。利用者さん、職員の仮装した姿に、自然と笑顔が生まれ、会場は笑い声



で溢れ和やかな雰囲気が出来てきます。その後のおやつは、いつもと違う特別感があり、普段より格別に美味しく感じられるようで、とても良い表情を見せてくださいます。今後も季節の風物詩となるレパトリーを広げ、利用者さんの笑顔を引き出すよう支援していきます。と思います。



「課活動から」

『豆まき編』

生活支援員 赤沢まどか



生活介護2では、2月3日に節分行事として豆まきを行い、ダンボールで作成した赤と青の「鬼」目掛けて、力いっぱい豆（豆に見立てた新聞紙の玉）を投げました。精いっぱい体を動かした後は、ジュースとお菓子を美味しくいただきました。節分行事を終っています。ジュースは、行事前は何を飲みたいか一人一人希望をお聞きし準備しましたので、とても



成したものです。「前回の活動時に皆さんで作った豆を使いますよ。」とお伝えすると、投げる腕により一層力が入ったようでした。このように、日々使用する道具を活動時に自分たちで手作りする、飲みたい物を聞き取る等、皆で協力して行事を作り上げています。今後も利用者の皆さんと職員とが一緒に様々な行事を盛り立てていくことができよう日々活動に取り組んでいきたいと思えます。



就労日活動から

『外出編』

職業指導員 阿部 雄一



就労継続支援B型では、日頃作業に精を出している利用者の皆さんに、「オープン日」という休日のお楽しみ行事を実施しています。11月には、要望が多かったカラオケと温泉にそれぞれ分かれて外出しました。普段、作業を共にしている利用者の皆さんが園外で一緒になって楽しむということは少ないので、とても喜ばれ満足されていました。



また、その他の行事として12月には利用者忘年会、1月には書初めを行いました。日頃、受託作業の納期に追われ真剣に取り組んでいる皆さんも、この時ばかりは、



笑顔を見せ楽しまれました。現在、おかげさまで受託作業が好調で利用者の皆さんには毎日忙しく作業に取り組んでいただい



います。そのような中でも要望を取り入れた行事を提供し、作業意欲に繋げていただけるよう努力していきたいと思えます。





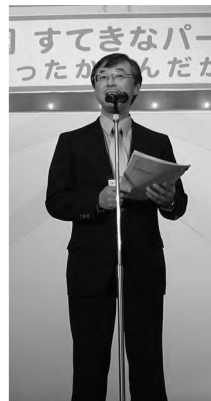
お寿司の日 〈3月9日〉

給食委託業者さんにご協力をいただき、『お寿司の日』を開催しました。年に一度のこの日を利用者の皆さんはとも楽しみにされており、当日は朝から笑顔がたたくさん見られました。



すてきなパーティー 〈12月20日〉

2年に一度の大イベント『すてきなパーティー』が盛岡グランドホテルで盛大に行われました。今回もご家族及び関係各位のご協力のもと、とても華やかなパーティーとなりました。準備の段階から楽しみにされ、当日はドレスアップして参加した利用者さん方はとても嬉しそうな表情を見せてくださいました。



旅行 田沢湖コース 〈10月8日~9日〉



田沢湖コースの一泊旅行。温泉でゆったりとした後は、美味しい料理を食べ、カラオケを楽しみ、翌日は自然の中を散策。リフレッシュされた利用者の皆さんです。



27年度をふりかえる…利用者さんにインタビュー

就労継続B型利用者さんから…
佐藤 希巳子さん!

- Q. 27年度で一番の思い出を教えてください。
- A. 初めてラウンドワンに行ったことです。
- Q. 楽しかったことは何ですか？
- A. 仲間と一緒にボウリングに行ったり、買い物に出掛けたりしたことです。
- Q. もう一度 やりたいことはありますか？
- A. みんなとまた出掛けたいです。
- Q. まだやったことの無いもので、チャレンジしたいことはありますか？
- A. 乗馬。馬に乗りたいです。まずはポニーから。
- Q. どこか行ってみたい所はありますか？
- A. 遊園地と動物園に行きたいです。
- Q. 食べてみたいものはありますか？
- A. スープカレー、グラタン、ラーメン、パフェが食べたい。
- Q. あなたの夢は 何ですか？
- A. 好きな人と結婚したいです。

職員から

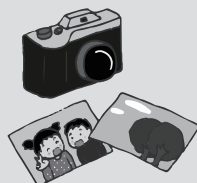
佐藤希巳さんはしっかり者のお姉さんで、一緒に作業に取り組んでいる仲間達からも慕われています。どこかに出掛ける時には率先して楽しんで、たくさんの笑顔を見せてくれます。是非、遊園地や動物園に皆と出掛けられるといいですね。

通所生活介護利用者さんから…
伊藤 裕 司さん!

- Q. 27年度で一番の思い出を教えてください。
- A. 写真をもらったこと。
- Q. 楽しかったことは何ですか？
- A. キーマカレーを食べたこと。
- Q. もう一度 やりたいことはありますか？
- A. 花見がしたい。
- Q. まだやったことの無いもので、チャレンジしたいことはありますか？
- A. 職員全員の誕生日を知ること。
- Q. どこか行ってみたい所はありますか？
- A. 旅行で岩手県内と青森県に行きたい。
- Q. 食べてみたいものはありますか？
- A. うなぎが食べたい。
- Q. あなたの夢は 何ですか？
- A. リーダーになりたい。

職員から

伊藤裕司さんはカメラが趣味で行事の際には利用者さんや職員の写真をたくさん撮影してくれます。とても頼もしい姿のカメラマンさんです。



施設入所支援利用者さんから…
野月平 幸 子さん!

- Q. 27年度で一番の思い出を教えてください。
- A. すてきなパーティーが楽しかった。
- Q. 楽しかったことは何ですか？
- A. カラオケで唄ったの。
- Q. もう一度 やりたいことはありますか？
- A. 散歩に行きたい。
- Q. まだやったことの無いもので、チャレンジしたいことはありますか？
- A. 氷川きよしに会いたいです。
- Q. どこか行ってみたい所はありますか？
- A. 買い物に行ってカセット買いたい。
氷川きよしと美空ひばりのカセットが欲しい。
あと、パチンコにも行きたい。
- Q. 食べてみたいものはありますか？
- A. ラーメン、カレーライス、ハンバーグが好きです。
- Q. あなたの夢は 何ですか？
- A. まりこさん(お友達)とお出掛けしたい。

職員から

行事やイベントが大好きな野月平幸子さん。氷川きよしさんの歌をいつも上手に唄ってくれます。いつかコンサートに行けるといいですね。

平成27年度 離任式

3月31日に離任式が行われました。初めは園を去るそれぞれの職員の話に真剣な表情で耳を傾けていた利用者の皆さんでしたが、式が進むにつれて涙を浮かべる方もいらっしやいました。

利用者さんからの心温まるメッセージ、花、贈り物、歌、エールなど送られる職員も涙、送る利用者さんも涙、見守る職員も涙。最後は触れあい、抱擁し合い、そして笑顔でお別れすることができました。

式の中で代表としてお話された利用者さんのメッセージをご紹介します。↓「お別れは淋しいけれど、私たちは元気でいます。みなさんも元気で頑張ってください。

私たちは元気でいます。皆さんも身体に気を付けて。また、会いに来てくださいます。



お知らせ

職員の異動

“お世話になりました”

○退職

平成二十八年三月三十一日付

総務課長 藤原美由紀

生活支援員 伊藤 京子

生活支援員 藤尾ゆう子

○転出

平成二十八年四月一日付

ワークセンターむろおか 施設長へ

総務支援部長 山内 雄幸

あさあけの園 支援課長へ

主任生活支援員 佐々木 薫

“よろしくお願いします”

○転入

平成二十八年四月一日付

総務支援部長兼総務課長

畑 育子

主任生活支援員 金本 麻里

(みちのく療育園より)

書記 工藤 靖子

(しんせいより)

○昇任・採用

平成二十八年四月一日付

管理栄養士 木村 敦子

(臨時栄養士)

平成27年度の苦情受付・対応状況

内 容	申出人	対 応
1 定期薬の受け渡しに関する事	保護者	・改善
2 送迎時の職員の声掛けに関する事	保護者	・改善
3 利用者の身体の異変に関する事	保護者	・相互理解、継続
4 利用者の特性に応じた職員の対応に関する事	保護者	・改善
計 4 件		

当園に対する苦情につきましては、受付担当者(総務支援部長)、解決責任者(施設長)が対応いたします。また、内容によっては、苦情解決第三者委員(外部委員3名)がご相談に応じます。平成27年度は、苦情解決第三者委員会(虐待防止委員会を兼ねる)を10月と3月に開催しました。2回目の開催の際には、利用者さんに第三者委員の方々を紹介し、直に声を交わしていただきました。

主任生活支援員 川村真知子
(生活支援員)
生活支援員 木幡 彩
パート支援員 咲山としえ
(臨時生活支援員)
(新規採用)

平成28年度 前期の行事予定

- 4月 歓迎会
お花見
保護者会総会
- 5月 遠足
- 6月 第12回右手車障がい者スポー
ツ大会
- 7月 チャグチャグ馬つ子交流会
太田地区夏祭り参加
- 8月 まゆの里記念行事
夏季休暇
蜂神社祭典

ご支援ありがとうございました (27年度後期分)

- 11月 富士ゼロックス 様 《シャンプー、洗剤》
- 12月 白石食品工業株式会社 様 《クリスマスケーキ》
- 〃 紫波総合高等学校PTA 様 《PTAバザー益金》
- 1月 富士ゼロックス岩手 様 《車椅子1台》
- 3月 株式会社公楽 ウインズ本宮 様 《菓子、飲料》
- 〃 富士産業株式会社 様 《お寿司の日職人さん派遣》
- 〃 マックスバリュー東北矢巾店 様 《ギフトカード》